

4 / 18 校長講話

私は、サクラが大好きです。

夏雲小にもソメイヨシノやシダレザクラなどがあります。桜の種類は、なんと100以上あるそうです。今日は、みなさんが一番身近でよく目にするソメイヨシノというサクラについて話します。

ソメイヨシノというサクラにはたくさんの不思議が詰まっています。

今日は1つ紹介します。

ソメイヨシノは、先に花が咲き、花びらが散るところになってから葉が出始めます。植物というのは、葉が茂ったあとに花が咲き、実を作るものが多いのですが、ソメイヨシノは花が先に咲きます。なぜでしょう。

それは、前の年からエネルギーを十分にためて、花を咲かせるエネルギーを蓄えているからです。

ソメイヨシノは、夏ころまでに、次の年の花のもとを作りだすそうです。だから今は、来年用の花の元を作るためにソメイヨシノは頑張っています。夏頃に花のもとを作ったあとは、しばらくの休眠期（休み期間）に入ります。

そして冬の寒さがきっかけとなり目が覚め、春に向けて開花の準備を開始。暖かくなってくると花のよとの成長スピードも速くなり、ようやく「開花〜!」となるのです。

また、ソメイヨシノの開花については、きまりがあります。

「その年の2月1日以降の最高気温を足していき、その足し続けた温度が600℃になると開花する」
そうです。

今日は、サクラの不思議を紹介しました。

サクラには、まだまだ不思議があります。

興味があったら調べてみて校長先生に教えてください。

また、サクラに限らずいろいろなことを調べるととても楽しいです。

ぜひ、調べたことがあったら校長先生に教えてください。

今日のお話終わります。